

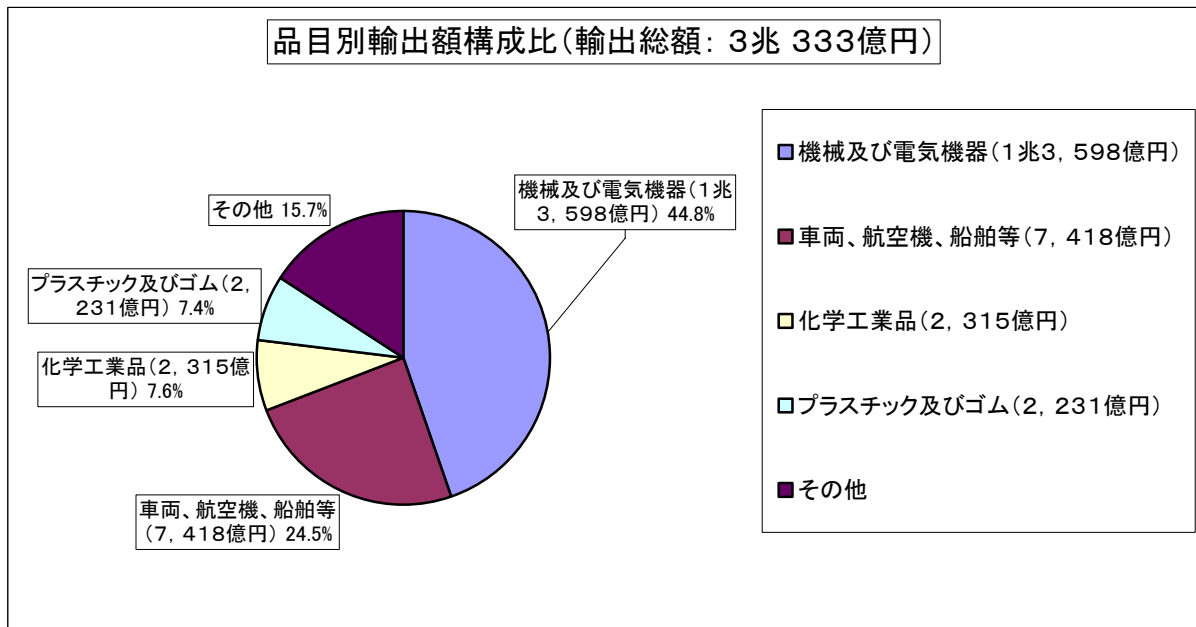
福岡県の輸出概況

(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成16年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸出状況をみると、次のとおりである。平成16年の本県の輸出総額は、3兆333億33百万円、前年比11.4%増で、前年に引き続きプラスとなった。

(2) 品目別輸出動向

品目別構成で見ると、「機械類及び電気機器」（1兆3,598億円）が最も多く輸出全体の44.8%を占めている。次いで、「車両、航空機、船舶等」が24.5%（7,418億円）、「化学工業の生産品」が7.6%（2,315億円）、「プラスチック及びゴム」が7.4%（2,231億円）と続いている。



(3) 港別輸出動向

港別の輸出額は、博多港が1兆118億円（前年比30.3%増）、福岡空港が6,287億75百万円（前年比12.6%減）、苅田港が5,354億75百万円（前年比6.4%増）、門司港が4,848億31百万円（前年比15.4%増）、戸畑港が2,383億44百万円（前年比25.8%増）、三池港が1,341億7百万円（前年比19.1%増）の順であった。

港別の特徴で見ると、博多港は「映像機器」、福岡空港は「半導体電子部品」、苅田港は「自動車」、門司港は「一般機械」、戸畑港は「鉄鋼」、三池港は「船舶類」の輸出ウエイトが高い。

(4) 地域別輸出動向

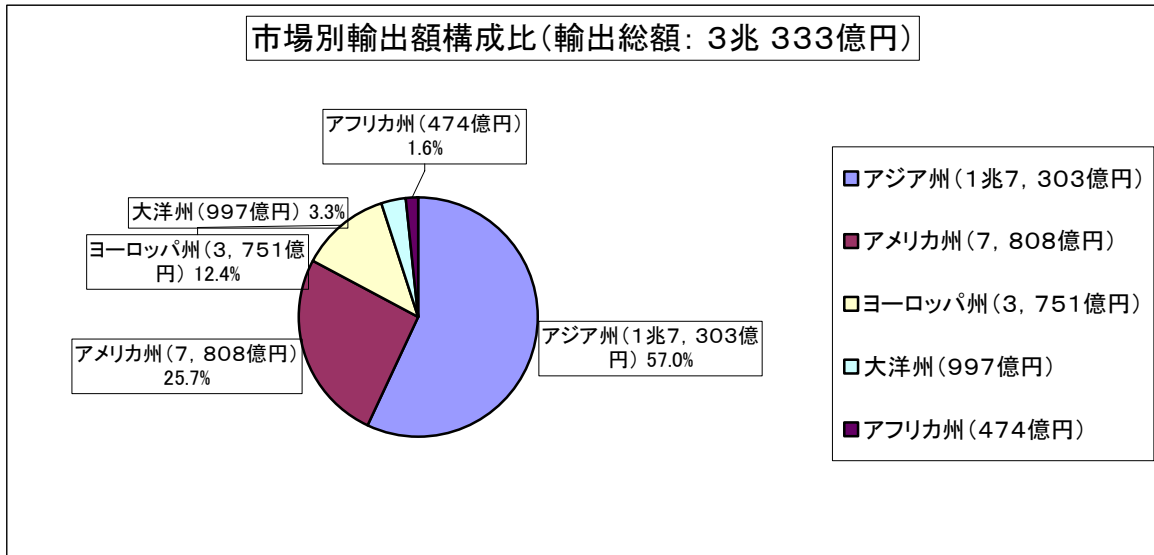
輸出先別で見ると、アジア州への輸出が最も多く1兆7,303億円で、全体に占める割合は57.0%となった。主な相手先は、中華人民共和国(3,432億円、同11.3%)、大韓民国(3,290億円、同10.8%)、台湾(2,740億円、同9.0%)、香港(1,708億円、同5.6%)、タイ(1,245億円、同4.1%)である。

アメリカ州への輸出は7,808億円となり、全体に占める割合は25.8%となった。主な相手先はアメリカ(5,969億円、同19.7%)である。

ヨーロッパ州への輸出は3,751億円となり、全体に占める割合は12.4%となった。主な相手先はドイツ(908億円、同3.0%)、イギリス(413億円、同1.4%)、フランス(390億円、同1.3%)、イタリア(352億円、同1.2%)である。

大洋州への輸出は997億円となり、全体に占める割合は3.3%となった。主な相手先はオーストラリア(836億円、同2.8%)である。

アフリカ州への輸出は474億円となり、全体に占める割合は1.6%となった。



福岡県内港上位輸出国(地域)順位

金額単位: 百万円

順位	2002年		2003年		2004年		構成比 (%)
	国(地域)名	輸出額	国(地域)名	輸出額	国(地域)名	輸出額	
1	アメリカ	608,849	アメリカ	594,745	アメリカ	596,918	19.7
2	大韓民国	262,754	大韓民国	260,069	中華人民共和国	343,200	11.3
3	台湾	207,718	中華人民共和国	239,558	大韓民国	329,001	10.8
4	中華人民共和国	171,058	台湾	226,799	台湾	274,008	9.0
5	香港	133,960	香港	149,256	香港	170,782	5.6
6	シンガポール	126,518	タイ	115,295	タイ	124,470	4.1
7	タイ	123,416	シンガポール	113,764	シンガポール	119,321	3.9
8	フィリピン	89,834	フィリピン	103,602	フィリピン	111,959	3.7
9	ドイツ	76,987	ドイツ	101,866	ドイツ	90,775	3.0
10	マレーシア	72,569	マレーシア	83,617	マレーシア	85,574	2.8
11	オーストラリア	52,170	オーストラリア	70,837	オーストラリア	83,614	2.8
12	イギリス	48,755	イギリス	54,632	カナダ	60,715	2.0
13	カナダ	48,701	カナダ	46,401	メキシコ	47,718	1.6
14	オランダ	44,932	メキシコ	44,504	インドネシア	44,880	1.5
15	インドネシア	43,444	オランダ	42,164	イギリス	41,302	1.4
	上記以外	466,164	上記以外	474,739	上記以外	509,096	16.8
	合計	2,577,829	合計	2,721,848	合計	3,033,333	100.0

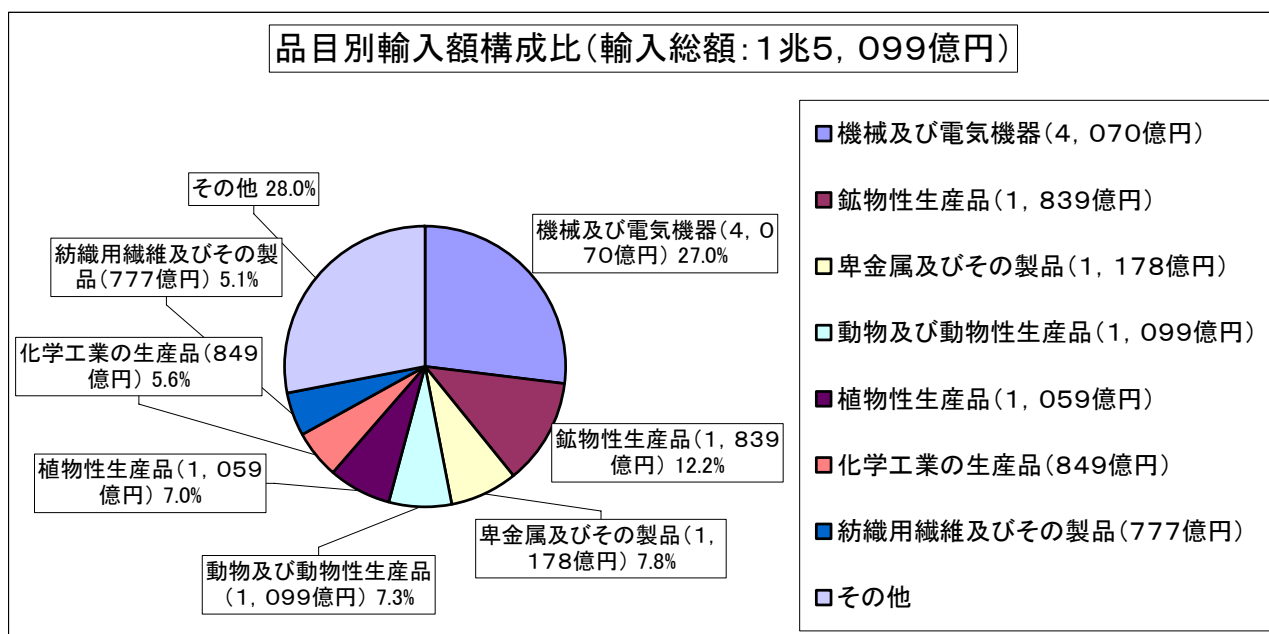
福岡県の輸入概況

(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成16年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸入状況をみると、次のとおりである。平成16年の本県の輸入総額は、1兆5,098億89百万円、前年比11.5%増で、6年連続のプラスとなった。

(2) 品目別輸入動向

品目別構成で見ると、「機械類及び電気機器」（4,070億円）が最も多く輸入全体の27.0%を占めている。次いで、「鉱物性生産品」が12.2%（1,839億円）、「卑金属及びその製品」が7.8%（1,178億円）、「動物及び動物性生産品」が7.3%（1,099億円）と続いている。



(3) 港別輸入動向

港別の輸入額は、博多港が5,570億89百万円（前年比11.2%増）、門司港が4,268億27百万円（前年比9.3%増）、福岡空港が3,086億98百万円（前年比7.9%増）、戸畑港が1,679億95百万円（前年比26.3%増）、三池港が405億34百万円（前年比7.8%増）、苅田港が87億47百万円（前年比42.3%増）の順であった。

港別の特徴で見ると、博多港は「魚介類及び同調製品」、門司港は「電気機器及び衣類」、福岡空港は「半導体電子部品」、戸畑港は「液化天然ガス」、三池港は「はき物」、苅田港は「石炭」の輸入ウエイトが高い。

(4) 地域別輸入動向

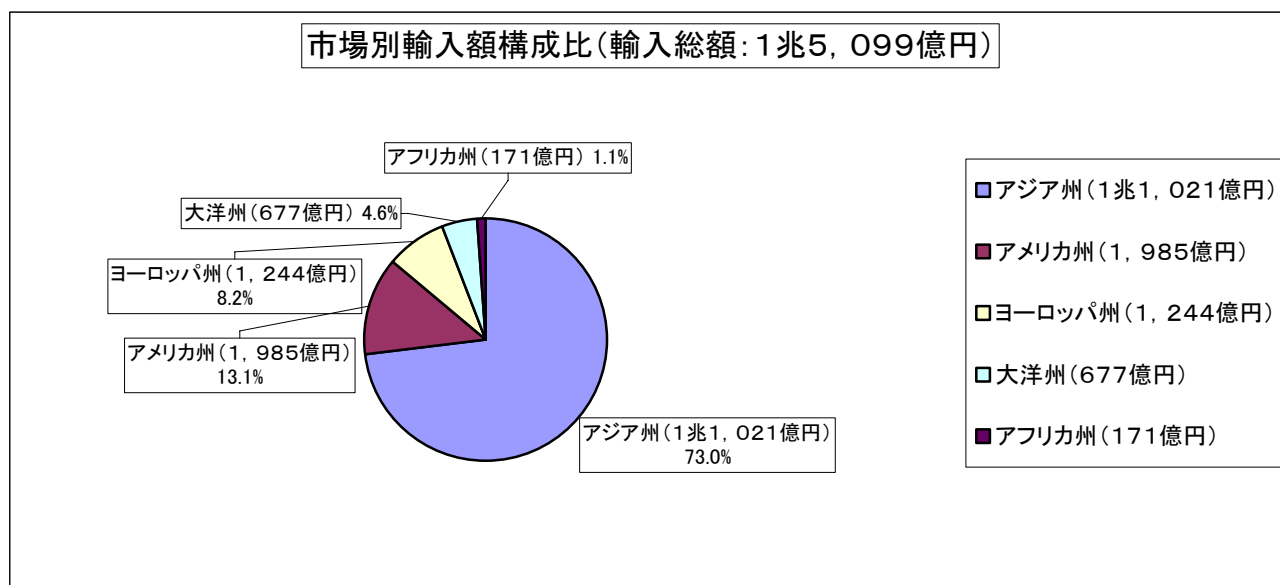
輸入先別でみると、アジア州からの輸入は最も多く1兆1,021億円で、全体に占める割合は73%となった。主な相手先は、中華人民共和国(4,570億円、同30.3%)、大韓民国(1,554億円、同10.3%)、タイ(1,154億円、同7.6%)、インドネシア(1,145億円、同7.6%)、台湾(1,042億円、同6.9%)、マレーシア(520億円、同3.4%)である。

アメリカ州からの輸入は1,985億円となり、全体に占める割合は13.1%となった。主な相手先はアメリカ(1,304億円、同8.6%)、カナダ(245億円、同1.6%)である。

ヨーロッパ州からの輸入は1,244億円となり、全体に占める割合は8.2%となった。主な相手先はロシア(371億円、同2.5%)、ドイツ(200億円、同1.3%)である。

大洋州からの輸入は677億円となり、全体に占める割合は4.6%となった。主な相手先はオーストラリア(591億円、同3.9%)である。

アフリカ州からの輸入は171億円となり、全体に占める割合は1.1%となった。



福岡県内港上位輸入国(地域)順位表

金額単位: 百万円

順位	2002年		2003年		2004年		構成比 (%)
	国(地域)名	輸入額	国(地域)名	輸入額	国(地域)名	輸入額	
1	中華人民共和国	355,582	中華人民共和国	385,678	中華人民共和国	457,022	30.3
2	大韓民国	180,172	大韓民国	168,120	大韓民国	155,430	10.3
3	アメリカ	151,413	アメリカ	138,395	アメリカ	130,394	8.6
4	インドネシア	99,109	タイ	108,400	タイ	115,426	7.6
5	タイ	95,201	インドネシア	101,055	インドネシア	114,498	7.6
6	台湾	68,714	台湾	70,632	台湾	104,151	6.9
7	フィリピン	56,939	オーストラリア	55,540	オーストラリア	59,116	3.9
8	マレーシア	53,110	フィリピン	50,530	マレーシア	52,018	3.4
9	オーストラリア	49,648	マレーシア	49,379	フィリピン	44,208	2.9
10	カナダ	22,325	カナダ	23,068	ロシア	37,144	2.5
11	ロシア	21,082	ロシア	22,044	カナダ	24,531	1.6
12	ドイツ	20,812	ドイツ	18,246	ドイツ	20,022	1.3
13	ベトナム	11,747	ベトナム	13,949	ブラジル	16,823	1.1
14	インド	11,559	ブラジル	11,942	ベトナム	16,319	1.1
15	ブラジル	10,888	シンガポール	11,850	インド	14,662	1.0
	上記以外	128,109	上記以外	125,646	上記以外	148,125	9.9
	合計	1,336,410	合計	1,354,474	合計	1,509,889	100.0

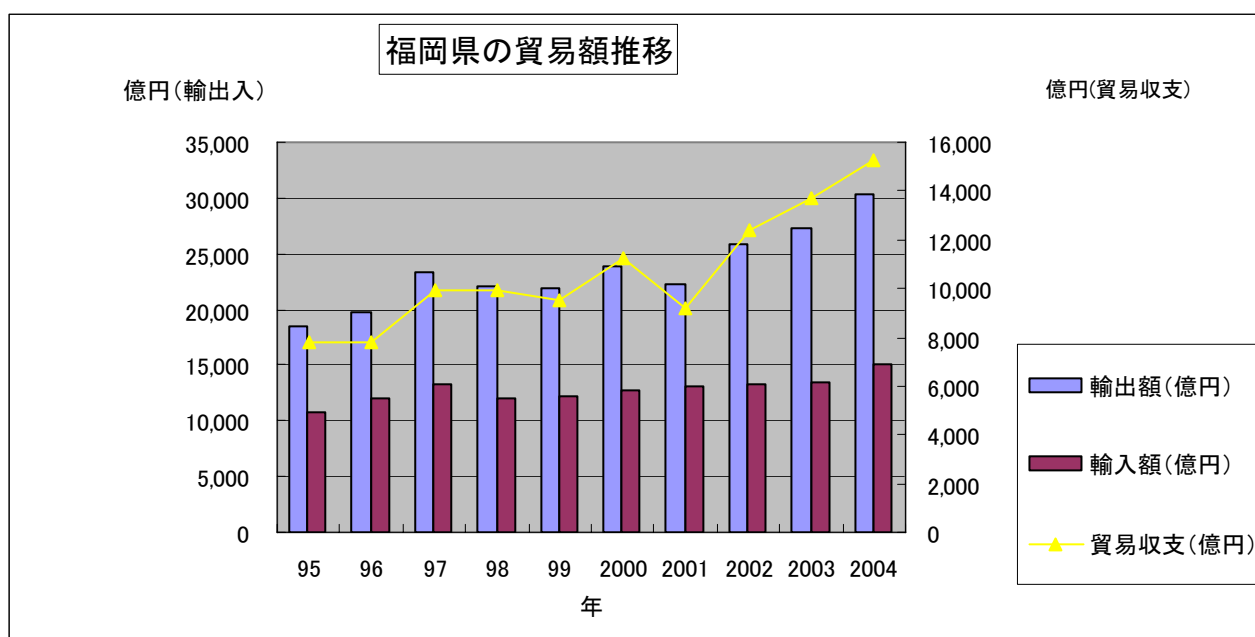
福岡県の貿易の位置付け

(1) 輸出入バランス

2004年の日本の貿易額（通関ベース）は、円ベースでは、輸出が前年比12.1%増の61兆1,700億円、輸入が前年比10.9%増の49兆2,166億円で、貿易収支は、前年の10兆1,863億円から11兆9,533億円へと拡大し、3年連続で増加した。

これに対し、福岡県の貿易は、輸出が前年比11.4%増の3兆333億円となり、3年連続のプラスとなった。一方、輸入は前年比11.5%増の1兆5,099億円となり、6年連続のプラスとなった。

この結果、輸出入の貿易バランスは出超基調で推移しており、前年比11.4%増の1兆5,234億円と3年連続の拡大となった。



(2) 地域別輸出入動向

<日 本>

2004年の輸出を国・地域別で見ると、前年に引き続き中国向け輸出が増加したことが注目される。

アジア州での輸出は、前年比16.4%増の31兆2,431億円となった。その中でも、中国は前年比20.5%増の7兆9,942億円で2位となり、シェアは13.1%へと拡大した。

一方、アメリカ向けは前年比2.4%増の13兆7,307億円で、シェアは22.4%となった。ヨーロッパ州向けも好調で、前年比12%増の10兆5,896億円となり、シェアは17.3%となった。

2004年の輸入では、アジア州からの輸入は、前年比13.1%増の29兆439億円となった。また、中国からの輸入は、前年比16.8%増の10兆1,990億円で、前年に引き続きトップであり、シェアは20.7%に伸びた。一方、アメリカからの輸入は前年比0.9%減の6兆7,634億円となった。ヨーロッパ州からの輸入は、前年比9.6%増の7兆6,061億円となった。

2004年の日本の貿易が輸出入ともに拡大した背景には、輸出では世界経済、とりわけ東アジアの成長が加速したこと、輸入では民間需要を中心に日本経済が堅調に推移したこと、及び原油価格をはじめとする資源価格の高騰が指摘できる。

<福岡県>

これに対し、福岡県の輸出を国、地域別で見ると、アジアへの輸出額が高くなっているのが分かる。アジア州への輸出額は前年比18.6%増の1兆7,303億円で、2,710億円の増加となり、輸出額全体に占めるアジア州の割合は前年比3.4%増の57%となった。

欧米への輸出も増加しており、ヨーロッパ州への輸出は前年比0.3%の増の3,750億円で、12億円の増加となり、アメリカ州への輸出は前年比2.1%増の7,808億円で、159億円の増加となった。

また、国別では中国、韓国、台湾への輸出額が大幅に増加した。中国への輸出は前年比43.3%増の3,432億円で、順位は3位から2位に上がった。

一方、輸入に関しても、日本全体の輸入額と同様に増加している。アジア州からの輸入割合が大きく全体の73%を占め、前年比12.3%増の1兆1,021億円で、1,204億円の増加となっている。

また、欧米からの輸入も増加しており、ヨーロッパ州からの輸入は前年比20.9%増の1,244億円で、215億円の増加となり、アメリカ州からの輸入は前年比4.8%増の1,985億円で、92億円の増加となった。

国別では、台湾、インド、中国からの輸入額が大幅に増加しており、特に、台湾からの輸入は、前年比47.5%増の1,042億円で、335億円の増加となっている。一方、大韓民国、アメリカからの輸入額は減少している。

(3) 品目別輸出入動向

<日本>

2004年の品目別輸出をみると、主要製品のすべてが増加した。

資本財の中では、電気機器が前年比11.8%増の14兆3,734億円、輸送用機器が前年比6.4%増の14兆1,074億円、一般機械が前年比14.4%増の12兆6,070億円となった。

商品別に見ると、輸出は全般的に好調な品目が多かったが、中でも電気機器、原料別製品（鉄鋼、金属製品等）、一般機械、化学製品の各品目が10%を超える伸びとなった。また、電気機器は半導体電子部品と映像機器（デジタルカメラやDVDプレーヤーを含む）の割合が43.8%を占め、原料別製品は鉄鋼の割合が38.5%を占めた。

2004年の品目別輸入においても、主要製品のすべてが増加した。

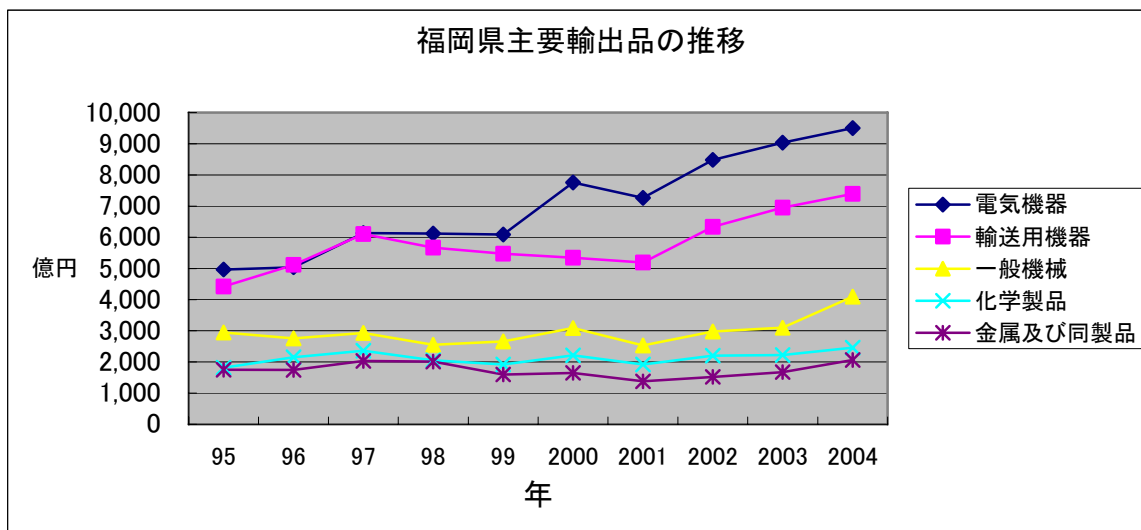
資本財の中では、電気機器が前年比12.9%増の6兆8,508億円、一般機械が前年比10%増の5兆1,712億円、輸送用機器が前年比3.1%増の1兆9,255億円となり、いずれも堅調な伸びを示した。

商品別に見ると、輸入も輸出同様、全般的に好調な品目が多く、中でも鉱物性燃料、電気機器、一般機械、化学製品、原料品（木材、非鉄金属鉱等）の各品目が10%を超える伸びとなった。

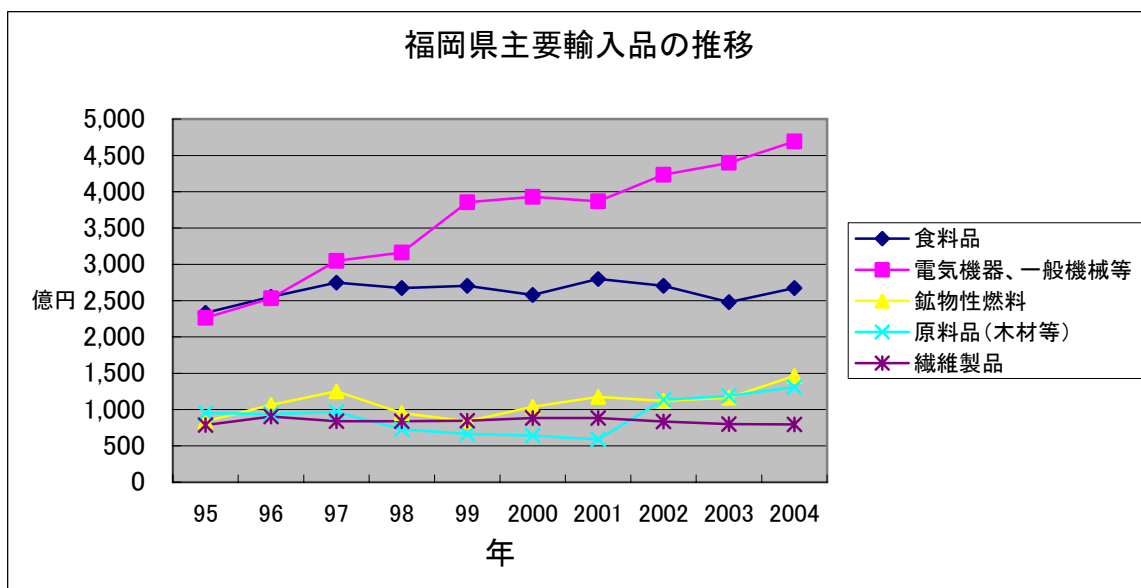
また、鉱物性燃料は輸入全体額の21.7%を占め、電気機器は半導体等電子部品の割合が33.3%を占めた。

<福岡県>

これに対し、福岡県の主要品目別輸出額を見ると、一般機器、金属及び同製品、電気機器、輸送用機器等が昨年に引き続き、増加している。特に、一般機器は前年比 32.2%増の 4,097 億円、金属及び同製品は前年比 23%増の 2,062 億円となり、大幅拡大となった。



福岡県の主要品目別輸入額を見ると、電気機器・一般機械が 3 年連続で増加している。その他の品目も、繊維製品（前年比 0.6%減の 795 億円）および非金属鉱物製品（前年比 0.6%減の 232 億円）を除き増加しており、特に金属及び同製品は前年比 39.6%増の 1,096 億円、鉱物性燃料は前年比 25.8%増の 1,463 億円となり、大幅拡大となった。



*貿易統計データについては、「財務省ホームページ」、「平成16年（2004）外国貿易年表」（日本関税協会門司支部編）、「平成16年（2004）外国貿易年表」（長崎税関編）、「九州経済圏各県別の貿易（確定値）平成16年分」（門司税関）を基に福岡県にて編集